

スポーツゲームズ in 東山

報告書

<開催要項>

- 名称 : スポーツゲームズ in 東山
日時 : 2012年11月17日(土) 9:20~12:30
参加者数 : 76名
会場 : 東山総合体育館(岩手県一関市)
主催 : 一関市教育委員会(東山支所教育文化課)
特定非営利活動法人MIPスポーツ・プロジェクト
共催 : 一関市、一関市体育協会
特別協賛 : 株式会社ゴールドウイン
助成事業 : 公益財団法人 大崎企業スポーツ事業研究助成財団



<講師紹介>



齋藤 信治(バレーボール)
元バレーボール日本代表
北京五輪出場
ワールドカップ出場
世界選手権出場



小椋 久美子(バドミントン)
元バドミントン女子日本代表
北京五輪出場5位入賞



中村 俊之(フットサル)
MIP・FCコーチ
日本サッカー協会C級ライセンス



田中 茂(MIPコーディネーター)
元ハンドボール日本代表
元ハンドボール女子日本代表コーチ

<プログラム>

「チャレンジスポーツラリー」

内 容：子ども達が、経験の有無に関わらず、様々なスポーツをトップアスリート・トップコーチのコーチングの下で体験し、新しいスポーツの楽しさや夢を発見するプログラムです。

対 象：小学4年生～6年生

時 間：9：50～12：10（40分×3クール）

参加者数：41名

実施種目：バドミントン、バレーボール、フットサル（3種目）

【プログラムの様子】



▲オープニング
一関市役所東山支所長の佐藤様より、お話を頂きました。



▲ウォーミングアップ
2人組での対決のデモンストレーションの様子。



▲バドミントン
子ども達一人一人にアドバイスをしてくれました。



▲バレーボール
齋藤講師からのボールをアンダーレシーブでしっかりボールを上げる事ができるかな？



▲フットサル
未経験者が多くいましたが、基礎的な事を行った事で参加者全員が楽しく参加していました。



「MIPコーディー（親子・小学生）」

内 容：親子のプログラムでは、遊びの動きから、運動神経を伸ばすための動きを経験する事と、身体を動かす事の楽しさを親子一緒に体験します。

小学生のプログラムでは、リズム感覚・バランス感覚を養う事を目的とした、この年代の子どもに合わせた様々な動きを、楽しみながら実践します。

対 象：①5・6歳児親子 ②小学1～3年生

時 間：①10：00～11：00 ②11：10～12：10（①・②共に60分）

参加者数：①4組（8名） ②27名



▲せーので「エイ！」（5、6歳児親子）
親と一緒に声を合わせて「エイ！！」



▲ボールパス（小学生）
しっかりとタイミング良く相手にパスできているかな？

<スポーツゲームズ in 東山を終えて>

- ・開催地名：岩手県一関市
- ・代表者名：一関市役所 東山支所長 佐藤 喜一郎
- ・担当者名：一関市役所 東山支所 菅原 由幸
- ・開催地の人口：約127,745人
- ・出身のアスリート：及川 英香（バレーボール/元トヨタ車体クインシーズ）
高島 覚（野球/元中日ドラゴンズ） 藤原 麻起子（ソフトボール/元日立ソフトウェア）
木村 正太（野球/元読売ジャイアンツ）
- ・出身の有名人：及川 ひろみ（ミュージシャン）
藤 圭子（歌手）（敬称略）
- ・団体の特色・アピールポイント
一関市（いちのせきし）は、岩手県の最南端に位置する、県内第二の人口・面積を擁する市です。（旧東・西磐井郡）宮城県境に接し、古くから宮城県北と人的、物的な交流も盛んな地域で、「中東北の拠点都市」として活力のある街づくりを目指しています。

最後に・・・

岩手県一関市の東山総合体育館にて「スポーツゲームズ in 東山」が開催されました。

今回は、他のイベントと日程が重なり、76名の参加となりましたが、参加した子ども、保護者の方は、とても喜ばしい表情でした。

チャレンジスポーツラリーでは、殆どの参加者が初めて体験するスポーツとなり、子ども達は期待と不安で入り混じったような様子でしたが、プログラムを行うにつれてそれぞれのスポーツが持つ楽しさを感じ、終始笑顔で取り組んでいました。

また、トップアスリートと触れ合う事で、スポーツに対する考え方や、難しい事へのチャレンジする気持ち等、スポーツの魅力だけではなく、トップアスリートならではの取り組む姿勢を感じる事が出来たのではないかと思います。

MIPコーディーでは、室内でスペースが狭い中でも遊び感覚で気軽に出来る運動を行いました。子ども達はとても楽しそうに体を動かし、対戦形式のメニューでは白熱した勝負になる等、思いっきり汗をかけた笑顔が印象的でした。

今回の「スポーツゲームズ in 東山」を終えて、子ども達だけではなく、大人の方も含めて会場にいる方全員の笑顔があふれていた事が印象に残りました。トップアスリートの皆様には、競技専門のスキルだけではなく、スポーツが持つ素晴らしさを伝えて頂きました。そのスポーツに対する思いが、会場全体に伝わったのだと思います。

最後に、「スポーツゲームズ in 東山」の開催におきまして、ご担当された菅原様をはじめ、多くの関係者の皆様にご協力を頂きました事を感謝致します。

（スポーツゲームズ担当：中村 俊之）